

### 主な事業計画等

9月26日(月)19:30 第5回運営委員会  
9月30日(金)  
広谷自治協議会視察受入

### 主な活動経過等

8月21日(日)防災研修会 38名  
8月23日(火)産地応援セミナー 視察研修参加 4名  
8月27日(土)せきのみやふれあいまつり出店  
8月28日(日)ルディックウォーキング講習会 30名  
9月5日(月)eo光.ネット等工事  
9月7日(水)自治振興部会  
9月8日(水)女性部会  
9月13日(水)関宮地域自治協連絡会  
文化祭実行委員会

\*養父市ふるさと納税記念品として漬物、餅セット等を市に申請、受付中

**6月～8月 きゅうりの集荷**  
ご協力ありがとうございました。  
約 1560 kg集荷、早速「はちぶせ漬」を漬け始めました。

秋まつり等の**赤飯**注文ください。

**1升当たり1,950円**

土曜日には**あん入りもち(とち、よもぎ)、さんしょ大福**を作ります。おみやげや祝い事、仏事にも喜ばれます。どうぞご利用ください。ご希望によりセットします。

**6個入り 600～800円**  
**3個入り 300～400円**

## ふれあいまつり

# 展示作品募集

ふれあいまつりの展示作品を募集します。  
趣味や特技を活かした作品、仕事にかかわるもの、めずらしい農作物、工芸品など・・・何でもよいです。  
ぜひ、あなたの日ごろの成果を見せてください。[担当:自治振興部会他]

短歌、俳句、川柳、手芸品、木工品、写真、絵画、野菜、収集品、布製品、粘土細工、わら細工、こども園の作品、書など

[持込] 10月28日(金)

9時～17時

[引取] 10月30日(日)

16時～17時

上記時間が無理な場合は他の日でもかまいません。



写真は昨年の展示の様子



## 粘土づくりの作品完成

8月6日開催の夏休み体験講座(粘土)で作成しました作品が8月下旬に完成しました。

それぞれに工夫をこらした飾り皿やカップなど思い出の作品づくりができたことでしょう。

子どもたちは夏休みの作品として学校に持っていくという方もありました。であいの里ふれあいまつりにも出品してみなさんに見せていただきたいです。(担当:文化部会)



## 10月30日(日) であいの里

# ふれあいまつりのご案内

秋の収穫もまもなく終える頃でしょうか。

であいの里の年に一度の最大イベント“ふれあいまつり”を次のとおり開催します。

今年も、大屋町大杉のざんざこ踊りをはじめ、皆さまに楽しんでいただける催し、お役にたつお話し等を計画しています。

お誘いあわせお越しくさせていただきますようご案内します。

詳細につきましては次号でお知らせします。[担当:自治振興部会他]

**【とき】 平成28年10月30日(日)**

**【ところ】 であいの里**

**【催しもの】**・作品展示・各部会活動展示

- ・養父市内の伝統文化鑑賞「大杉ざんざこ踊り」
- ・細田芳子先生の音楽療法で心も体もリフレッシュ
- ・楽しく身につくトラブル防止のお話 但馬消費生活センター  
「被害に遭わない、加害者にならない、泣き寝入りしない」
- ・喫茶開店(昼食あり)・加工品試食・販売 ほか

**【その他】** 送迎バス(車)運行 (時間は次号に掲載します。)



# であいの里広

2016/9/15 No.81  
兵庫県養父市出合 249  
出合校区協議会  
【であいの里】  
(電話) 667-8020  
(Fax) 667-8022  
<http://www.deaikyo.com/> (ホームページ)

## 『大杉ざんざこ踊り』とは

江戸時代初期に流行したカガミという病気を治めるために、地元の庄屋が伊勢に参拝した帰途、奈良の春日大社で習った踊りを氏神様に奉納したところ、村が次第に平穏になったと伝えられています。これが始まりで360余年間続いています。大きな「シデ」(長さ2mの大団扇)を背中に背負った中踊りを中心に掛け声をかけ、太鼓を叩きながら、大勢の踊り手が周りを取り囲



別名「鬼踊り」と呼ばれるように、まさに鬼たちが宴会をしているような踊りは、見るものを圧倒します。毎年8月16日には二宮神社境内で氏神様に奉納します。[写真は今年の奉納踊り]  
国選択無形民俗文化財、県指定無形民俗文化財に登録されています。

## ルディックウォーキング講習会 8月28日

講習後はみんな笑顔で気分爽快!! 30名参加

### 「大きくゆったり歩くことを覚えよう!」

曇り空で、外でのウォーキングには最適の日となりました。室内で講師(藤川氏、余田氏)の講義、ボールの調整等の指導を受け、体育館で正しい靴の履き方、ストレッチ体操、ボールを使って歩く練習、その後、芝生が実践に最適と、小路頃出合農村公園で3組に分かれて順に何度も歩きました。講習の前後に参加者一人一人の歩幅を計ってもらいました。1歩の歩幅が平均24cm(11cm～34cm)も広くなり、成果が顕著に表れました。2回目もぜひやってほしいとの声が多数ありました。[担当:健康福祉部会]